
緋弾のエリア ~ 負完全な転生者 ~

クロス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

緋弾のアリア〜負完全な転生者〜

【Nコード】

N2526Z

【作者名】

クロス

【あらすじ】

もといた世界を大嘘憑きの誤作動で虚構してしまった球磨川禊はなぜか大嘘憑きの能力が変に使われて緋弾のアリアの世界に転生することになった。そこで球磨川は武偵神崎・H・アリアたちに出会い共に戦ったりしたりする

序章 く転生く(前書き)

書きたかったから書いてみました。

序章 　↳ 転生

序章 　　↳ 転生

「おい、主起きんか！起きろといったら起きんか！！」

『お母さん後五分…』

「ワシやお母さんじゃないわ」眼を開けてみると目の前にサンタさんみたいな容姿のおっさんがいた

『じゃあどちら様？』

「わしや神様じゃ」どうせ神様出てくるんだったら可愛い女神だったらよかつたのに

「失礼なこと考えるなあ」どうやら自称神様（笑）は心を読めるよ
うだ

「自称じゃないれつきとした神様じゃ」

『じゃあ神様僕が死んだんだったら、大嘘憑きで生き返るはずなんだけど』

オールフィクション

「残念ながらその大嘘憑きの誤作動のようで主のいた世界が虚構さ
れたんじゃよ。」

『じゃあなんで僕がここにいるの？』

「大嘘憑きの能力が変に使われて転生するようじゃよ」

『じゃあ、めだかちゃん達は死んじゃったの？』

「……………」自称神様（笑）が黙ったということは死んだのだろう

『どこに転生するの？いちご100%？それともT o L o v e r？』

「いや、緋弾のアリアじゃ」

『緋弾のアリアってあのラノベの？』

「そうじゃ、それで危ないから武器をやるうごんなのがいい？」よ
かったあたりだ

『じゃあ威力の高い銃二丁で』

「威力が高かったらそのぶん反動が重いぞ」

『大丈夫、反動を虚構するから』

「じゃあ、パイファー・ツェリスカ二丁でいいか」そのパイファー
なんとかを渡してきた

『うん、ありがとう。あ、あと学校は東京武偵高で学年とクラスは、
キンジ君達と同じ2年A組でよろしく』

「わかった。そうしておこう。あ、あと履歴は適当にたてておいた

から、一応書類を渡しておこう」書類を渡してきた

一般高からの転校生だって、しかも学力が低すぎる失礼だなあ

『後ネジもちょうだい』

「ほい、あと、緋弾のエリアに関しての記憶を消しておくからの
ネジを渡してそうだった

『まあ仕方ないよね、ネジありがとう。早く制服とかもちょうだい
よ』

「それに関しては向こうにいくと勝手に着ているから大丈夫じゃ、
家については書類にかいておいたからのう」

「そろそろ時間じゃ。くれぐれも世界を虚構せんでくれよ」

『楽しみだなあ』そう言ったところで真っ暗になり意識がぶっ飛んだ

「……………ちらばじゃ球磨川楔」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2526z/>

緋弾のエリア～負完全な転生者～

2011年12月8日23時55分発行